

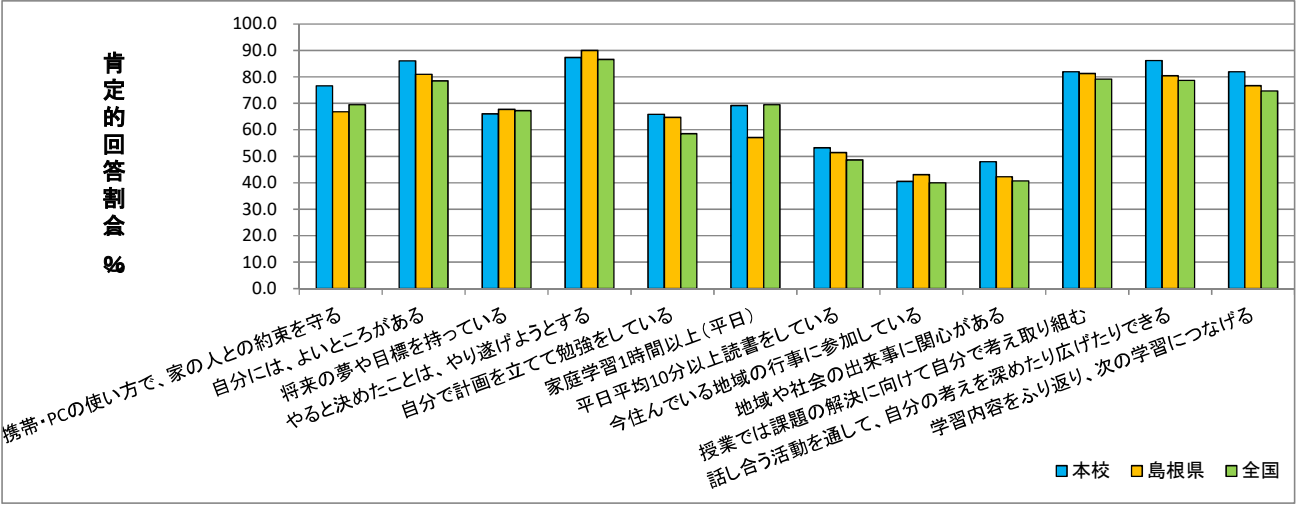
(1)学力調査結果から見られた傾向

	成果と課題(○:成果, ●:課題)	対 策(・)
国語	○「思考力、判断力、表現力等」の領域の中で、「読むこと」の正答率が高く、場面展開や登場人物の心情の変化を、描写を基に捉えることができている。 ●「記述式」の正答率が低く、無回答率も高い。 ●「知識及び技能」の領域の中で、「言葉の特徴や使い方に関する事項」の正答率が低い。	・指導の際に、文法、表現技法、語句の理解といった基礎知識を押さえておく。 ・記述に関する指導を意図的・計画的に行い、自分の考えを根拠を明確にしているように書くことができるよう指導する。
数学	○基本的な知識・技能に関する問題は正答率が高い。日頃の計算練習の成果が出ている。 ●関数、データの活用の領域での正答率が低い。 ●記述式の問題の正答率が低く、無回答率が高い。	・基礎基本を大切にする指導を続けていく。 ・考察の内容を書いたり発表したりする時間を確保し、表現する機会を増やす。 ・日常の生活や他の教科での学習内容と、数学の関連が意識されるように導入や活用の段階の題材を工夫する。
理科	○記述式に関する問題は正答率が高い。 ○「生命」を柱とする領域が高い。 ●「エネルギー」を柱とする領域の正答率が低い。 ●「知識・技能」に関する正答率が低い。	・基礎基本を大切にする指導を続けていく。 ・各領域について、日常生活とのつながりを意識し、振り返る時間を作り、定着させることを心がける。 ・実験を通して大切なことを知り、「なぜそうなったのか」自分で考え、グループで話し合うようにする。

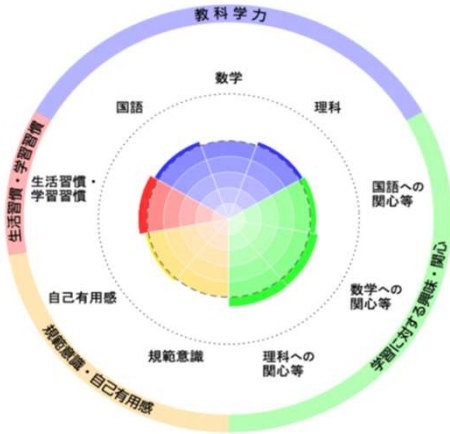
(2)生徒質問紙調査から見られた傾向

	成果と課題(○:成果, ●:課題)	対 策(・)
質問紙	○自分にはよいところがあると思う生徒の割合が高い。また、地域や社会の出来事に関心があるとする生徒の割合が高い。 ●「人が困っているときは、進んで助けていますか」と「将来の夢や目標を持っている生徒」の割合が、県平均・全国平均よりやや低い。	・キャリアパスポートの充実、総合的な学習の時間及び生徒会活動・学校行事を通して、周りの人々と関わる機会を増やす。それによりコミュニケーションの取り方や困っている人を助ける行動力を育てるとともに、自他のよさを発見し、将来の夢や目標をもてるようにする。

(3)生徒質問紙調査結果より(学力との相関が指摘されているものや、教育委員会として注目しているものを挙げています。)



(4)学力・学習状況調査結果チャート(破線は全国平均)



(5)その他、今後特に力を入れて取り組むこと

・課題で分からないことがあったとき、どのようにしているか」の質問で「先生や友達に聞く」と回答した生徒の割合が県平均・全国平均より低い。分からないことを気軽に聞くことができる場の設定や聞くことができる雰囲気醸成に取り組む。

・ICT機器を効果的に活用していくために、機器やソフトウェア活用の実践例を情報収集するとともに各種研修へ積極的に参加する。更に校内で研修を充実させ、活用の推進に取り組む。

【受検者数】

94 名

※欠席等により調査によって受検者数が異なる場合は、最少の受検者数をもって表示。